



## 茨城県地域リハビリテーションアドバイザーニュース

## ごあいさつ



茨城県地域リハビリテーションアドバイザー養成事業指定講習会が開講し、今年で9年目を迎え、現在、232名の認定者が誕生しています。また、平成24年2月26日には、認定者の活動をサポートする形で、茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会が設立され、早くも5年目を迎えることになりました。

地域リハビリテーション(以下、地域リハ)アドバイザーは、それぞれの地域でリーダーとして活躍し、地域リハの普及・充実に努めることを目的として作られました。茨城県も地域包括ケアシステムの構築に向け、地域リハ・アドバイザーへの期待が高くなっていると聞いています。今後、益々アドバイザーに対する需要が増え、活躍の場が増えることが予想されます。前年度は、アドバイザー同士の交流を深め、今後の活動について模索している段階でしたが、今年度からは具体的に各ブロックの活動を推進する時期となってまいりました。地域包括ケアへの参画につての課題は山積みですが、地域の中で地域リハ・アドバイザーの認知度を上げるべく活動をしていきたいと考えています。

今回のニュースでは、平成28年2月13日に行われました、茨城県地域リハビリテーションアドバイザー養成事業・茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会合同特別研修会のご報告、また総会で決定した事等をご報告いたします。

## ◆「アドバイザーの会研修会」を開催しました◆

- 平成28年2月13日、茨城県立医療大学付属病院にて、茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会総会および研修会を開催致しました。研修会は、檜山由紀子先生(元城里町社会福祉協議会、地域ケアコーディネーター、介護支援専門員、高次脳機能障害支援コーディネーター)を講師に招き、「茨城県地域リハビリテーションについての継往開来・温故知新」をテーマにご講演いただきました。研修会には34名のアドバイザー認定者の参加がありました。研修会の後には、ブロック(県北・県南・県西)ごとに、「今後アドバイザーとしてやっていきたいこと」をテーマにグループワークを行いました。
- 研修の内容、グループワーク・アンケート結果

## 研修内容

- ・茨城県福祉地域ケアシステムの経緯とその活動実績
- ・茨城県福祉地域ケアシステムと茨城地域リハビリテーションについて
- ・県はいま、茨城県地域包括ケアシステムを推進していく
- ・地域リハビリテーションアドバイザーとして、今後担えることは？





## アンケートの結果

回答数20名(内訳:看護師2名、理学療法士2名、作業療法士5名、言語聴覚士2名、  
ソーシャルワーカー2名、介護福祉士2名、介護支援専門員1名)

- 地域包括ケアをすすめるにあたり、アドバイザーという仲間がいることが心強く感じた。
- 地域包括ケアシステムの意味を再認識できた。
- 地域リハ・アドバイザーの活動の方向性や役割が見えてきた感じがした。
- ネットワークの重要性について理解が進んだ。
- アドバイザーの先生方がどのような活動をしているかを知り、勉強になった。
- 地域包括ケアシステムの中で何ができるのか?考える機会になった。
- 地域リハビリテーションアドバイザーとして、多種専門職と多くを学ぶことができた。

## グループワークの結果

- アドバイザーの活躍の場は、プロボノとしての関わりにあるのではないか。  
地域住民の一人として参加していくことが良いのではないか。(県南地区)
- 市民に向けた公開講座の開設を行い、アドバイザーの知名度を上げていく。(県西地区)
- 支えていく気持ちを持つことが大切である。  
サポートには専門的な知識を要求されるが、専門外のこともあるため、ネットワークを利用して、様々な職種が連携して活動していけばよいと考える。
- 多職種間で、本音で語れる場所や共通言語で語れる場を提供していくことが必要と考える。
- 決められたルールの隙間を埋める活動をしていく。  
特別支援学級など学校関係者へのインフォーマルな関わりを考える。(県北地区)



## ◆「アドバイザーの会総会」を開催しました◆

茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会総会を開催し、下記の事が決定いたしました。

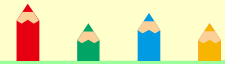
### ①役員

会長	川原田晴通 (やすらぎの丘温泉病院：医師)
副会長	中村 茂美 (アール医療福祉専門学校：作業療法士)
幹事	須崎 敦子 (介護福祉士・介護支援専門員)
	上倉 洋人 (志村大宮病院：理学療法士)
	高堀 康裕 (いばらき診療所訪問看護ステーション：作業療法士)
	濱田 陽介 (茨城県立医療大学付属病院：言語聴覚士)
	小瀧 圭司 (茨城県立医療大学付属病院：看護師)：事務局長
監事	和田野安良 (茨城県立医療大学付属病院・茨城県地域リハビリテーション支援センター長)
	中条 朋子 (筑波メディカルセンター病院：言語聴覚士)
顧問	伊佐地 隆 (帝京大学医学部リハビリテーション科：医師)
	大仲 功一 (志村大宮病院：医師)



## ②平成28年度 事業計画

- 総会（年1回）
- 講演会または研修会（年1回程度）
  - \* 平成28年度から、研修会の企画を輪番制とする。
  - \* 県南地区より開始し、県西地区(平成29年度)、県北地区(平成30年度)の順番で研修会を担当する。
  - \* 各ブロックの代表者は、下記の通りとする。
    - 県北地区：川原田晴通、高堀康裕、上倉洋人
    - 県南地区：中村茂美
    - 県西地区：中条朋子
- 幹事会（年1回）、事務局会（年2回）
  - \* 開催時期・内容については、幹事会・事務局会で審議の上決定する。



## ③今後の検討事項

- \* メーリングリストの公開については、現在各ブロックの代表者にのみ公開している状況です。ネットワーク作りのためにも、アドバイザー認定者間で公開してほしいといった意見が上がっています。今後、幹事会に議案提出し、検討していきたいと考えています。

## ④質疑応答（2件）



質問：現在のアドバイザーの活動内容について教えてほしい。

回答：

会員は多職種で構成されており、病院、施設、地域で活動するスタッフなど様々です。それぞれが、自身の仕事を担いながら、アドバイザーの活動をしていくのは、時間的な余裕もなく、負担になってしまいます。認定者の中には、ボランティアとして活動している方や自身の仕事の延長で相談業務を行ったり、市町村に呼びかけ介護予防などの活動を行ったりしている方もいます。そのような場で、アドバイザーの存在をアピールし、アドバイザーを認知してもらえるような活動をしている方もいます。個人で活動するのは難しいかと思しますので、各ブロックのネットワークづくりを行い、同志を募って活動を始めていくのも一つの方法と考えます。

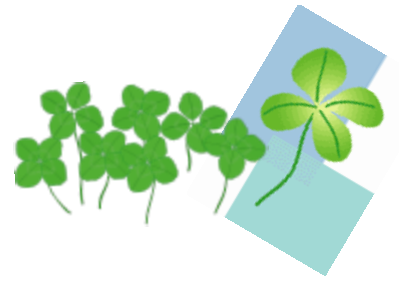
質問：会員の地域別の(所属施設など)配置状況が知りたいです。

回答：

茨城県立医療大学のホームページから、茨城県地域リハビリテーション支援センター⇒茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会⇒アドバイザー認定者情報を見ていただくと、所属施設や職種を確認することができます。







## ◆県南ブロック

### 茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会

### 勉強会のお知らせ◆

県南ブロックの中村茂美先生(アール福祉専門学校)より、勉強会の開催のお知らせをいただきました。

勉強会の内容は、以下の通りです。

#### 1. 勉強会のテーマ：「総合事業とリハビリテーション」

今後、要支援者は、介護予防給付と総合事業に移行されます。  
総合事業は介護予防に重点が置かれ、地域リハビリテーション支援事業が検討されています。  
そこで、総合事業とは何か、各地域の地域包括支援センターが今何を準備しているのか、など地域リハビリテーションアドバイザーの皆様と情報交換をします。

勉強会を担当する中村先生より、行方市の情報提供をさせていただきます。  
また、参加者より他市の情報を提供して頂き、情報交換をしたいと思います。

#### 2. 日時

2016年5月13日(金) 19時から

#### 3. 場所

アール福祉専門学校3号館2階  
駐車場は地図を参照ください。

#### 4. その他

参加申し込み：中村先生までメールでご連絡下さい。  
shige3nakamura@gmail.com

当日参加も歓迎です。  
多数の方の参加をお待ちしています。  
県南ブロック以外の方も参加お待ちしております。

#### <問い合わせ>

\*\*\*\*\*  
中村茂美 (Nakamura Shigemi)  
アール医療福祉専門学校  
TEL 029-824-7611 FAX 029-823-5155  
shige3nakamura@gmail.com  
\*\*\*\*\*





●問い合わせ●

茨城県立医療大学付属病院 地域リハ支援センター  
茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会 事務局

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733  
TEL 029-888-9210 FAX 029-888-9280  
病院HP <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>  
(地域リハ支援センターのページをご覧ください)

編集・発行  
平成28年5月10日  
茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会事務局